

令和7年度事業報告

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

一般社団法人 学士会

令和7年度事業報告（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

事業概況

本年度は、本会にとっての最重点課題である学士会館の共同再開発事業が大きく前進し、「学士会館・再開発元年」とも言える一年となりました。

本会は、令和6年12月3日に開催された臨時代議員総会において、隣地所有者である住友商事㈱と共同再開発事業を行うことを正式決定し、それを受け同年12月29日には、多くの皆さまに利用され、また親しまれてきました学士会館を「閉館」（一時休館）いたしました。

本年度に入り、7月には学士会館の「新館」及び「旧館」の一部（和食「二色」・203号室）の解体工事が本格的に開始され、本年度末（令和8年3月末）には地上部分の解体が概ね完了しております。

なお、学士会館の閉館に伴い事務局及び会員倶楽部室（同好会室）は近隣のビルに移転し、4月中旬以降は新事務所にて活動を行うことになりました。新事務所内には同好会室（撞球・囲碁・将棋室＋小会議室）も設けられ、従来と変わらぬ環境の下で同好会活動が行われております。

共同再開発事業に関しては、共同事業者である住友商事㈱と共同再開発事業の基本的枠組みを定める「事業協定書」の締結を行った他、東京都及び千代田区との行政協議においては事前協議の段階が終了し、それぞれの許認可に関する申請手続きの段階に入っております。

上記の通り、本年度は共同再開発事業に対する取り組みが比較的順調に推移した一方、事業活動面では学士会館の閉館による大きな影響—“痛手”を受けることとなり、今更ながら本会にとって学士会館が如何に大きな存在であったかを痛感させられた一年でもありました。

学士会館閉館の影響もあり、本年度も入会者の減少や退会者の増加が顕著となり、本年度末の正会員数は34,425名で対前年度末では1,412名の減少となりました。

その中で、本年度も新入会促進のための特例措置として「学生会員向け入会キャンペーン（初年度年会費無料）」を実施し、374名の新卒会員を迎えることができました。本制度は令和5年度より実施しており、本年度までに計1,100名以上の新入会会員を得ることができましたが、本制度の主眼である一年後に会費納入を伴う正会員に移行してもらうという点においては、未だ十分な成果には繋がっていないのが実情です。

今後ともこの間の経験・反省等を活かしながら、勧誘から入会、移行の各段階で、よりきめ細かな対応が可能となるよう取り組んでまいります。

ここ数年、本会にとって「学士会館の再開発事業」への取り組みが最重点課題ではありましたが、同時に再開発後の将来を見据えながら、本会の今後のあり方を新たに描き上げていくことが求められています。

来年度は先の代議員総会におけるご意見を参考にしながら、会員増強に向けた具体的取り組みを行うとともに、会員の皆さま—特に若い年代層の皆さま—の理解・協力を得ながら、“学士会の未来像—将来ビジョン”の検討・策定に向けた取り組みを行ってまいります。

以下、令和7年度の実施事業についてその概要を報告いたします。

令和7年度の本会は、取り組むべき重点課題として次の3点を掲げ、当該課題に対する取り組みを行うとともに、定款に掲げる各種事業を実施してきました。令和7年度の各事業の実施状況は後段にて詳述いたしますが、初めに重点課題に対する取り組みを報告いたします。

（1）学士会館の再開発計画に基づく共同再開発事業の着実な推進

本年度の最重点課題でありました「共同再開発事業の着実な推進」に関しては、前述のとおり再開発計画に基づき着実な前進を遂げることが出来ました。具体的な進捗状況等につきましては3月19日開催の令和7年度臨時代議員総会にて報告済みではありますが、改めて各課題に関して、以下報告いたします。

□共同事業者との「事業協定書」の締結について

共同事業者である住友商事(株)とは、今回の共同再開発事業の基本的枠組み(骨格部分)を定めた「事業協定書」の締結に向けた協議を行ってまいりましたが、令和7年7月29日付けにて両者合意の下「事業協定書」の締結を行いました。今後は同協定書に基づき「等価交換契約」の締結に向けた協議を行ってまいります。

□開発許可取得、総合設計制度許可に向けた行政協議の実施について

事業者である本会・住友商事(株)と鹿島建設(株)の担当チーム協働で、千代田区及び東京都との協議を継続して実施してきました。協議に際しては種々難題も生じ、また紆余曲折もありましたが、本年度内に概ね事前協議も終了し、現在は各種許認可申請に向けての取り組みを行っています。都市計画法第29条の開発許可(千代田区)に関しては5月11日に許可を取得し、それに先立ち4月30日に総合設計制度の許可申請(東京都)を行っています(9月中の許可取得を目指します)。

□「共同ビル」の基本設計及び実施設計の確定について

「共同ビル」(学士会館旧館+新ビル)の設計に関しては、事業者と鹿島建設(株)(設計担当チーム)とで定例会議(隔週)を実施し、基本設計及び実施設計の内容確認・確定を行った上で、当該設計図面に基づく「精算見積」の作成段階に入っています。今後は正式発注に向け価格調整(V E / C Dを含む)を行っていくこととなります。

□学士会館新館の解体工事の円滑な実施について

学士会館の解体・曳家保存工事の実施に向け、令和7年6月には工事施工者である鹿島建設(株)に会館の引渡しを行い、同年7月以降は本格的な解体工事を行っております。本年度末には地上解体がほぼ完了し、令和8年4月以降は地下解体工事及び曳家準備工事に移っています。

□新事務所への移転と円滑な業務稼働について

学士会館閉館に伴う事務所移転について、住友商事(株)の協力により近隣の同社所有ビル(千代田区一ツ橋1-2-2 住友商事竹橋ビル2階)に事務所スペースを確保し、令和7年4月中旬には新事務所で事務局業務を開始いたしました。同事務所には事務室の他に同好会室や会議室が常設され、同好会室においては従前と変わらない環境の下で同好会活動が行われています。

(2) 再開発期間中(=学士会館閉館中)の学士会事業・会員サービスあり方検討

学士会館の閉館に伴い、学士会館で実施していた各種事業・催しは学士会館外の施設を利用して実施せざるを得なくなりました。

そのため恒例の講演会(夕食会・午餐会)は、近隣の一橋大学一橋講堂に会場を移し開催することとし、併せ、オンラインによる同時視聴が可能となるハイブリッド形式の講演会(来場+オンライン)に改めました。首都圏以外の会員の皆さまも参加が可能となる見直しでしたが、食事提供が無いことや皆さまへの周知不足もあり、残念ながら参加者数は減少となっております。令和8年度は講演内容の充実は勿論のこと、会場を変更の上、改めて周知徹底に努めてまいります。

学士会館に依存しない活動への取り組みとして、首都圏以外では関西地区での講演会(関西茶話会)の他、九州地区・東海地区での講演会・見学会・体験会等を実施いたしました。首都圏においても学士会館外にて見学ツアーや良縁イベントを実施いたしました。

また、会員同士のW e bを活用した各種交流会も活発に実施されており、それら取り組みに対しても支援を行いました(詳細は3頁~7頁「講演会、交流会、その他の活動」欄をご覧ください)。

なお、閉館期間中の会館代替施設として、近隣施設であるK K Rホテル東京、如水会館、法曹会館と提携・協力関係を結び、宿泊や会議・宴会、また婚礼等に際して本会会員向けのサービス提供が受けられるようにいたしました。

(3) 再開発期間中の適切な資金管理及び再開発後の事業運営体制の検討

本会は再開発期間中（2025年～2030年）、事業活動収支の赤字（毎年2億円程度の赤字を想定しています）や、再開発事業の進展に伴い発生する多額な事業費（工事費等）に対する適切な資金対応が必要となってきます。

本会では再開発期間中の事業活動収支の赤字は保有特定資産の取り崩しで対応し、再開発関連の事業費対応は共同事業者である住友商事(株)との事業協定に基づく受領資金（等価交換差金）により対応することにしていきます。再開発期間中は多額な資金の出入りが発生するため、本年度より既存の特定資産に加え、再開発事業用の特定資産を新たに設け、適切な資金管理・資金対応が行えるよう整備いたしました。

再開発後の事業運営（会館運営体制）については、「新学会館」の用途の検討を行うとともに、運営体制として直営方式・外注方式の有利・不利等の検討を行いました。令和8年度には一定の方向性を出していく予定です。

以下、各事業別にその概要を報告いたします。

1. 会 報（『學士會会報』及び『NU7』）

本会会報である『學士會会報』と『NU7』を隔月に同時発行しました。『學士會会報』は第972号を令和7年5月、第973号を7月、第974号を9月、第975号を11月、第976号を令和8年1月、第977号を3月にそれぞれ発行し、全会員に配布しました。また、『學士會会報』は七大学各学部図書館に寄贈する他、国立国会図書館や各県立図書館等へも毎号寄贈し、本会の目的でもある“学術的文化的知識の交流普及”に努めました。

七大学総合情報誌として平成27年9月より発行している『NU7』は、令和5年9月よりWeb化を行い、本会ホームページにて公開しています。本年度は、第59号を令和7年5月、第60号を7月、第61号を9月、第62号を11月、第63号を令和8年1月、第64号を3月に公開しました。

その他、学生会員向けサービスの一環として、希望する学生会員約300名に『學士會会報』を配布しました。

2. 講演会、交流会、その他の活動

本年度は、定例の「夕食会・午餐会」に代わる講演会として、食事提供の無いハイブリッド形式（来場＋オンライン）の講演会を、「一橋大学一橋講堂（中会議場3・4）」において開催するとともに、関西地区はじめ各地区において各種イベントを開催しました。

(1) ハイブリッド講演会

本年度は、各分野で活躍される多彩な方々による講演会を、次のとおり昼と夜の時間帯に分けてハイブリッド形式（来場＋オンライン）で開催（5月夜、8月夜・昼、12月昼及び1月夜は例年どおり休会）し、延べ1,403名（うちオンライン489名）の参加がありました。

AI時代の到来：その仕組みと新しい文明	甘利俊一氏（令和7年4月夜講演会）
第二次トランプ政権の政策と日本の課題	安井明彦氏（令和7年4月昼講演会）
ダークマターの正体に迫る～現在地と今後の見通し～	村山 齊氏（令和7年5月昼講演会）
ナスカの地上絵～謎はどこまで解明されたか	坂井正人氏（令和7年6月夜講演会）
毒の科学と歴史の魔力と魅力	船山信次氏（令和7年6月昼講演会）

超高齢社会のための「サイバニクス医療健康イノベーション」

山海嘉之氏(令和7年 7月夜講演会)

トランプのアメリカはどこへ向かうのか～日米・米欧関係の行方

グレン・S・フクシマ氏(令和7年 7月昼講演会)

量子コンピュータの現状と未来

藤井啓祐氏(令和7年 9月夜講演会)

埋設インフラの老朽化と道路陥没—その実態と対策—

桑野玲子氏(令和7年 9月昼講演会)

トランプ2.0 これまでの総括

鈴木一人氏(令和7年10月夜講演会)

新興感染症の時代：新型コロナウイルス感染症の教訓とJ I H Sの創設

脇田隆字氏(令和7年10月昼講演会)

「富岳NEXT」が切り拓く未来

近藤正章氏(令和7年11月夜講演会)

スコープで土の魅力を掘り起こす

藤井一至氏(令和7年11月昼講演会)

有人宇宙活動を支える医学管理：月面探査や民間低軌道活動に向けて

横田航志氏(令和7年12月夜講演会)

令和時代の歴史小説の現在地と可能性

澤田瞳子氏(令和8年 1月昼講演会)

健康寿命を延伸する最高の腸活

辨野義己氏(令和8年 2月夜講演会)

連立政権の運営と課題

山口那津男氏(令和8年 2月昼講演会)

わが国の国立公文書館および公文書管理の現状と課題

鎌田 薫氏(令和8年 3月夜講演会)

ハードボイルドの美学と哲学

逢坂 剛氏(令和8年 3月昼講演会)

(2) 関西茶話会

関西地区の会員及び学生会員を対象とした関西茶話会を、本年度も引き続き講演会のみに変更して次のとおり開催し、延べ84名の参加がありました。

第58回「京都の別荘群と近代和風建築・庭園—京都大学清風荘・南禅寺界限を中心に—」

中嶋節子氏(令和7年 4月19日)

第59回「3Dプリンターによる霜降り培養肉の開発と社会実装に向けた取り組み」

松崎典弥氏(令和7年 6月14日)

第60回「地図から読む地域の歴史—歴史地理学による身近な地域の景観史—」

山村亜希氏(令和7年10月 4日)

第61回「風俗画から浮世絵へ—浮世絵の成立—」 菅原真弓氏(令和8年 2月14日)

(3) 地域講演会

本年度は、九州地区及び名古屋地区において開催しました。

□九州講演会

共催 学士会、九州学士会

「科学の窓から世間をのぞく」

元村有希子氏(令和7年 9月21日)

(参加者：64名)

□名古屋講演会

共催 学士会、名古屋大学全学同窓会

後援 名古屋大学

「認知症の百年戦記：治療実現から予防へ」

勝野雅央氏(令和7年12月 9日)

(参加者：109名)

(4) 新年祝賀会

本年度は令和8年1月8日に開催し、「一橋大学一橋講堂（中会議場）」において、樺山紘一学士会理事長の新年の挨拶の後、芝田山康氏（第62代横綱 大乃国）による講演会（演題：「大相撲 次の100年に向けて」）及び立食形式の懇親会を行いました。43名の参加がありました。

(5) 若手茶話会

45歳までの会員を対象とした茶話会（「ミニプレゼン会」「読書会」）を、若手会員の集まりである「学士会YELL*が主体となり、毎月開催しました。ハイブリッド形式（会場+オンライン）も導入し、延べ144名の参加がありました。

*YELL : Youth Experts for Liberal arts and Leadership

<実施内容の一例>

□ミニプレゼン会（ハイブリッド開催）

都市集積とスタートアップの関係性 — 集積の「つくりかた」、一緒に考えませんか？

風間 健人氏（令和7年 5月31日）

神経発達症はなぜ存在するのか — 進化精神医学の視点と、そこから見える精神療法の可能性

高野 覚氏（令和7年 8月24日）

(6) Web交流会

Web会議システム（Zoom）の体験会から派生した、会員同士で談話をする「Web交流会」を計29回開催しました。読書会「90分 de 『學士會会報』」をはじめ、毎回トークテーマを設けた上で開催し、延べ216名の参加がありました。

(7) 見学会

本年度は次のとおり、見学会を開催しました。

[関東地区]

□皇居三の丸尚蔵館長と巡る見学ツアー（令和7年 4月 8日）

皇室に代々受け継がれた絵画、書、工芸品などを収蔵する「皇居三の丸尚蔵館」で館長を務める島谷弘幸氏を講師に、国宝を含む展示作品の紹介や、関係者の中でも限られた人しか入ることのできない修復作業室・収蔵庫を見学しました。19名の参加（満席）がありました。

[東海地区]

□石博士とまちなか石めぐり（令和7年 6月14日）

NHK連続テレビ小説『虎に翼』のロケ地として有名な「名古屋市市政資料館」や「名古屋市役所」などの近代建築と「名古屋城」を巡り、そこで使われている石材について、NHKラジオ第1『子ども科学電話相談』回答者としてもお馴染みの“街角地質学者”西本昌司氏が、地質学の視点から解説しました。愛知県を中心に愛媛や高知などから18名の参加がありました。

[関西地区]

□京都大学 清風荘（旧西園寺公望邸）見学会（令和7年 5月24日）

京都大学所有（昭和19年に京都帝国大学へ寄贈）で国の重要文化財に指定されている通常非公開の旧西園寺公望邸「清風荘」の見学と、七代目小川治兵衛らの担当による庭園の散策を楽しみました。30名の参加がありました。

□美術院国宝修理所見学会

(令和7年 7月26日)

国宝・重要文化財に指定されている木彫(仏像・神像など)の修理のほとんどを手がける「美術院国宝修理所」の七条工房において、今まさに修復が行われている作業場を会場に、所長の岩下淳氏による解説付き見学会を開催しました。10名の参加(満席)がありました。

(8) 体験イベント

本年度は次のとおり、体験イベントを開催しました。

□甲冑師 佐藤誠孝氏の工房見学・体験会

(令和7年 9月13日)

万博開催中で賑わう大阪において、公益社団法人日本甲冑武具研究保存会評議員を務める若き甲冑師佐藤誠孝氏の工房見学と、甲冑、武具着付け体験を行いました。京都、兵庫といった関西圏はもちろん、首都圏からの参加者もあり12名満席となりました。

なお、以下のイベントについては、開催延期となりました。

□昆虫写真家第一人者 海野和男氏に学ぶ! 昆虫撮影会

(講師都合により開催延期)

昆虫写真家第一人者である海野和男氏より、東京都千代田区「北の丸公園」に集まる昆虫を被写体に撮影方法などを学ぶイベントで、子供含め20名満席となっていました。講師都合により延期となりました。

(9) 良縁イベント

令和7年12月13日、28歳~38歳の独身者(会員及び会員家族)に参加者を限定した良縁イベント「1対1良縁パーティー」を開催し、男女各11名が、事前に記入したプロフィールをもとに交流しました。

(10) 同好会支援

撞球、囲碁、将棋、俳句、漢詩、短歌、落語、探訪、謡曲、美術鑑賞、Web交流の各公認同好会に加え、女性会員有志の会「サクラ会」の活動支援をいたしました。さらに、新たな活動として、「八人会(質問を通じて、登壇者の想いや人生観に迫る会)の発足と開催支援をいたしました。

その他、学士会館閉館に伴う同好会活動の停滞が最小限となるよう、各同会の例会会場の手配及び会場費の支援を行いました。

(11) 会員企画支援

本年度は次のとおり、若手学士会会員グループ主催による講演会を支援しました。

□トークイベント(ハイブリッド開催)

共催 学士会YELL、京都大学同窓会若手会、(NPC)eumo、(株)ジェネリス
協力 学士会

「タウマゼインな人々」(「驚きの力一心が動き、人が動き、社会が変わる原動力」シリーズ)

久保田 しおん 氏・渡邊 和樹 氏

風間 健人 氏・岡田 亜理寿 氏

モデレーター: 岩波 直樹 氏

(令和8年 2月11日)

(参加者: 107名)

(12) 提携サービス紹介

提携企業が会員向けに提供する各種サービス（引越し、ホームセキュリティ、スポーツクラブ等）について、延べ2,000名超の利用がありました。特に、音楽・演劇・舞踊などの舞台芸術に関し、通常では入手困難な良席を特別価格にて提供している「鑑賞ツアー」については、延べ約200公演（うち首都圏以外30公演）のチケット販売を行いました。

3. 学 士 会 館

学士会館は、再開発期間中のため一時休館中です。令和7年7月1日より、新館及び旧館増築部他の解体工事が開始されました。

4. 同 好 会 室

学士会館閉館を受け、旧「会員倶楽部室」の機能を事務局と共に近隣施設に移転し、「同好会室」として令和7年5月より活動を再開しています。同好会室の利用実績（5月～3月までの11カ月実績）は次のとおりです。

- 撞球会例会利用回数 12回（12回） ＊カッコ内は学士会館「会員倶楽部室」前年度実績
- 囲碁会例会利用回数 96回（82回）
- 将棋会例会利用回数 69回（57回）
- 同好会室利用人員 6,030名（7,729名）

5. 諸 会 議 等

(1) 通常代議員総会

本年度の通常代議員総会を、令和7年6月26日、法曹会館において開催しました。当日の出席代議員61名、書面等による議決権行使代議員37名、合計98名の出席により総会が成立し、次の議案を諮りそれぞれ承認可決いたしました。

- 議案1 令和6年度事業報告並びに決算報告について
- 議案2 任期満了に伴う理事2名の選任及び理事の補充選任について
- 議案3 任期満了に伴う監事2名の選任について

(2) 臨時代議員総会

本年度の臨時代議員総会を、令和8年3月19日、如水会館において開催しました。当日の出席代議員55名、書面等による議決権行使代議員38名、合計93名の出席により総会が成立し、次の議案を諮りそれぞれ承認可決いたしました。

- 議案1 令和8年度事業計画案及び予算案について
- 報告1 学士会館の共同再開発事業の進捗状況について

(3) 理 事 会

本年度は次のとおり開催し、諸般の会務について審議決定いたしました。

- 5月理事会（令和7年 5月22日）
 1. 佐藤禎一理事の「退任（辞任）申出」について

2. 佐藤禎一理事退任に伴う後任体制について
 - ①理事の後任について
 - ②会報編集委員の後任について
 3. 令和7年度通常代議員総会の議案について
 4. 住友商事㈱との「事業協定書」の締結について
 5. 会員サービス高度化委員会報告
 6. ㈱学士会館精養軒の令和6年度決算について
- 報告（1）令和6年度卒業・修士学士の入会状況について
- （2）令和7年度期首会員数及び令和6年度会員数動向について

□6月理事会（令和7年 6月26日）

1. 住友商事㈱との「事業協定書」の締結について
- 報告（1）（本日開催）通常代議員総会について

□6月理事会（令和7年 6月26日—通常代議員総会后）

1. （定款第27条第2項に基づく）常務理事の選任について
2. 事務局長の委嘱について
3. 会報編集委員会委員長の選任、その他各委員会委員の選任について

□7月理事会（令和7年 7月17日）

1. 学士会館の共同再開発の進捗状況について—確認・報告—
 - ①「事業協定書」の締結について
 - ②「新館」（「旧館」二色部分を含む）の解体工事について
 - ③（現状における）共同再開発事業スケジュールについて

- 報告（1）第64回全国七大学総合体育大会（七大戰）の開会式について
- （2）令和7年度第一四半期（4月～6月）の会員数動向等について
- （3）令和7年度後半の理事会等の日程確認について

□9月理事会（令和7年 9月25日）

1. 学士会館の共同再開発事業の進捗状況
 - ①「事業協定書」の締結について
 - ②「新館」等の解体作業状況について
 2. 「基本設計」に基づく『共同ビル』の概要について
 3. 令和7年度上期の資金運用状況及び下期の資金計画（案）について
- 報告（1）第64回全国七大学体育大会（七大戰）の戦績結果及び閉会式について

□11月理事会（令和7年11月27日）

1. 令和7年度上期会計報告（収支決算状況）について
 2. 学士会館の共同再開発事業の進捗状況について
 3. 令和7年度臨時代議員総会の開催について（令和8年3月開催予定）
 4. 令和8年度（2026年度）理事会等の会議日程について
- 報告（1）令和7年度上期会員数動向（正会員・学生会員・準会員）
- 報告（2）七大学総長懇談会の開催について
- 報告（3）「名古屋講演会」の開催について

□1月理事会（令和8年 1月22日）

1. 学士会館の共同再開発事業の進捗状況について一報告・確認
2. 令和7年度臨時代議員総会（3/19開催）議題について
3. 令和7年度決算見通し並びに令和8年度予算の作成について
4. 「基本財産」に関する扱い一貸借対照表上の記載一の見直しについて
報告（1）令和7年度第3四半期の会員数増減について

□2月理事会（令和8年 2月26日）

1. 令和8年度事業計画案及び収支予算案について
2. 令和8年度資金計画案について
3. 学士会館の共同再開発事業の進捗について
4. 住友商事㈱との「事業協定書」に基づく「差金」の一部事前受領に伴う（本会土地に対する）
抵当権の設定について

□3月理事会（令和8年 3月19日）

1. 令和8年度通常代議員総会（6/16開催）議題について
報告（1）（本日開催）臨時代議員総会について

（4）監事会

1. 監査法人からの報告
2. 令和6年度決算報告（令和6年4月1日～令和7年3月31日）
令和6年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び財務諸表の注記の検査
3. 「公益目的支出計画実施報告書」の内容について
4. 通常代議員総会第3号議案（任期満了に伴う監事2名の選任）について

（5）常務会

毎月定期的に常務会を開催し、理事会提出議案の審議等、種々の会務を審議し必要事項を決定いたしました。

（6）諸委員会

ア. 会報編集委員会

本年度は次のとおり開催し、種々検討・協議の上、各号の執筆候補者及び講演会（ハイブリッド講演会・新年祝賀会等）講師の選定・決定を行いました。

- | | | | |
|-----|------|--------|---------|
| 第1回 | 令和7年 | 5月22日 | 会報第975号 |
| 第2回 | 令和7年 | 7月17日 | 会報第976号 |
| 第3回 | 令和7年 | 9月25日 | 会報第977号 |
| 第4回 | 令和7年 | 11月27日 | 会報第978号 |
| 第5回 | 令和8年 | 1月22日 | 会報第979号 |
| 第6回 | 令和8年 | 3月19日 | 会報第980号 |

イ. 会員サービス高度化委員会

本年度は次のとおり開催し、学士会館閉館中及び再開発後に向けた新たな学士会事業・サービスの展開について協議を行いました。

第 7 回 令和 7 年 4 月 2 4 日

第 8 回 令和 8 年 1 月 2 9 日

加えて、委員会内にワーキンググループを結成し、七大学交流促進及び会員増強のための具体的施策について検討・協議を重ねました。

『NU7』については、編集担当委員による内容確認の上で、隔月で本会ホームページに公開しています。

ウ. 学士会館再開発委員会

学士会館再開発委員会は、本年度より常務会併設とし、必要な協議テーマについて常務会内にて協議を行いました。その中で令和 7 年 1 月 1 0 日には本委員会を独自に開催し、新学士会館の内装・改修設計に関する今後の方向性について協議・確認を行いました。

その他、西村幸夫再開発委員会委員を中心に「再開発推進会議」を隔週開催（第 6 8 回～第 8 9 回）し、主に旧館保存の設計や全体計画、行政協議の進捗等に関する課題について検討・協議を行いました。

エ. 趣味同好会

令和 7 年 1 2 月 1 日、法曹会館において、撞球、囲碁、将棋、俳句、漢詩、短歌、落語、探訪、謡曲、美術鑑賞、オンライン交流の各同好会の年間優秀会員若しくは功労会員に対し理事長杯を授与し、その後、懇親会を開催し懇談を行いました。

6. 会 員

本年度における正会員の増減及び年度末正会員数は次のとおりです。*カッコ内は前年度実績

新 会 員	5 4 9 名	(7 4 8 名)
逝 去 会 員	5 6 8 名	(6 7 8 名)
退 会 会 員	1, 2 0 4 名	(1, 5 3 6 名)
会費長期未納退会者	1 8 9 名	(1 9 2 名)
差 引 減	1, 4 1 2 名	(1, 6 5 8 名)
現 在 会 員 数	3 4, 4 2 5 名	(内 終身会員 7, 2 4 8 名)

(注:「終身会員」の内、戦前に制定された終身会員制度による加入者が 1 9 9 名、平成 2 1 年度より新たに制度化された「新終身会員」が 7, 0 4 9 名になります)

学 生 会 員 3, 7 6 9 名

(注:令和 8 年 3 月卒業・修了予定の 1, 2 7 6 名を含めた会員数になります)

7. そ の 他

本会は、学士会館の運営業務を委託しておりました(株)学士会館精養軒の株式を 1 0 0 % 保有しており、同社の概要は次のとおりです。

[株式会社 学士会館精養軒の概要] (令和 8 年 3 月 3 1 日現在)

- 名 称 株式会社学士会館精養軒
- 所 在 東京都千代田区神田錦町 3 - 2 8
- 代表者 代表取締役社長 澤田 浩
- 資本金 1 0, 0 0 0 千円
- 売上高 0 千円 (令和 7 年度決算)

(注:学士会館の営業は令和 6 年 1 2 月 2 9 日をもって終了したため、令和 7 年度の同社は事業活動を伴わない実質的な休眠会社として存続しています)